

冬道ドライブのお役立ち情報

危険な箇所をあらかじめ予測して走行すると、危険を回避できる確率があがります！

長い坂道

長い坂道は、勾配が緩やかでも凍結して一度スリップし出すと車体のコントロールが効かなくなります。玉突き事故の恐れもあるので、車間距離を十分にとり、一定速度で慎重に走行しましょう。

峠道

山間部を通る峠道は、急カーブや日中でも日陰の部分が多く凍結している可能性が高い場所です。また、気象変化も激しいため、注意して通過するようにしましょう。

トンネルの出入り口

トンネルの出入り口付近は、山からの吹きさらしの風があたり、出口付近だけ凍結していることがあります。また、トンネルは緩やかに傾斜していることが多いので減速して通過しましょう。

早朝の舗装路

早朝の道路は、前日にツルツルに凍結した路面上に、薄雪が積もっている場合があります、想像以上に滑りやすくなっていることがあります。交通量の少ない道路を走行する時は気をつけましょう。

除雪作業車両へご協力ください

除雪作業車が前方を走行している時は、無理に追い越さないでください。凍結抑制剤を広範囲に散布するため、また、近づくと車両に降りかかる恐れがあるほか、ハンドルをとられたり、対向車に衝突する事故の恐れがあります。

凍結抑制剤のまめ知識

- ◆散布する箇所は、坂道や急なカーブなどで、道路の全部には散布していません。
※散布箇所(トンネル出入口、橋梁、交差点、急な坂道急なカーブ、日陰箇所など)
- ◆凍結抑制剤を散布しても、効果を持続する時間は2~4時間程度ですので、深夜や早朝に運転する場合は、特に注意しましょう。
- ◆散布は交通量の多くなる朝夕の通勤時間帯を中心に実施しています。
- ◆散布後も雪が1時間あたり2cm以上降ると効果が低減しますので、降雪時には特に注意して運転しましょう。
※凍結抑制剤は主に塩化ナトリウム(原塩)を使用しています。